

黒埼中、知事表彰を受ける

交通安全優良校で

さる七月十日、交通安全宣言県民大会の席上で、黒埼中学校が、交通安全優良校として知事表彰を受けたのは、県下で小学校三校と黒埼中で、たいへん名譽なことであると見られます。

以下、黒埼中で努力していることを紹介します。

1 交通安全隊を組織し事故防止



本校の自転車通学生は全校の四

二%、三八八名であります。この生徒たちが各校区ごとの交通安全分担任に所属し、地区内の交通安全指導や連絡の中心となって活躍しています。

また、校外自治委員が交通安全隊員となっており、指導に当たっています。街頭指導（春秋二

回）、ヘルメット着用指導、自転車小屋の整頓などにとめています。

2 計画的に交通安全指導
教育目標の「健康と安全に努めよう」を受けて、学級や学年、生徒会などの学校の全教育活動を通じて、交通安全指導をすすめていきます。特に学級指導では、学年の発達段階や季節を考慮して、交通マナーなどを計画的に指導しています。

3 地域社会との協力・連携を強化

町当局のヘルメット購入補助、町交通安全協会やPTA補助委員会の奉仕による自転車点検など、各種関係機関のご協力によって、この三年間大きな事故も起きておりません。今後も連携を深めて、安全です。前方の車に気がつき、急ブレーキをかけた瞬間にスピンして横転したり、ハンドルをとられて中央分離帯や防護柵に衝突したりという、一般道路では考えられないような事故を起こしています。いずれにしても、高速道路は「一歩間違えば取り返しつかない事故につながることをお忘れなく。」



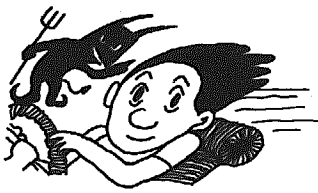
▽新田町 佐藤正男（魚竹）
香典返し 十万円を社会福祉協議会に寄贈

▽八区 風間豊博
香典返し 十万円を社会福祉協議会へ寄贈

「訂正」

第二二九号（前号）の「ピンチ！ガス事業会計」のグラフ、ガス供給量*2003は4209千立方メートルの間違いがありました。

また、教育委員会発行の青少年だより（第十七号）の青少年育成推進委員名簿に、木下組・大縫清一さんの氏名が記載もれでした。本紙を借り訂正し、おわび致します。



乗ったらシートベルト

シートベルトは「命綱」

車に乗ったら、まずシートベルトを「ドライバーの皆さん、忘れずにいつも着用していますか。ドライバーはもちろん、車に乗る人のだれ一人として、交通事故の危険から免れている人はおりません。というの、あなたが、いくら安全運転のルールを守る優秀な運転者であっても、事故に遭うことがあるからです。つまり、酒酔い運転や信号無視をする、いわゆる「無謀運転者」に衝突されては防ぎようがありません。車に乗る人はだれでも、常に死傷の危険にさらされているといえ

ます。こうした事故からわが身を守ってくれるもの、それがシートベルトです。

車に乗ったら、まずシートベルトをお忘れなく。

死亡事故も十人中九人は助かる

車に乗っていて事故に遭い、死亡した三千七百人（昭和五十一年中）のうち、シートベルトを着用していなかった三千六百八十一人に

ついて、警察庁がその原因などについて調べました。その結果、もしシートベルトを着けていたら、このうち三千二百八十五人（約八九%）は助かったであろうということです。このデータからもシートベルトは「命綱」であることがわかります。

シートベルトをしていれば、一〇〇%大丈夫——といえないものの、死亡する確立は、九・三人に一人——つまり、約十人のうち九人までが助かる、と警察庁ではいっています。また、シートベルトをするのと腰や上半身が安定します。つまり、事故防止にも役立ちます。つまり、スリッパやローリングで運転のコントロールを失ったときでも、姿勢が保たれていますから、ハンドルを離すことが少ないのです。

時速二〇キロでも死亡

衝突事故を起こしても、ハンドルをしっかりと握って、腕や脚で体を支えていれば大丈夫——と、なんとなくそう思っている人がいるようですが、これはとんでもない



誤りです。

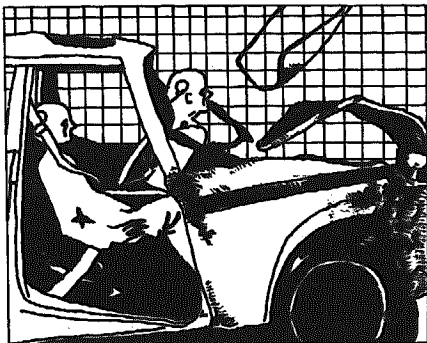
ある自動車メーカーの調査によりますと、シートベルトを着用しているドライバーの死亡事故は、時速九十六キロを超えて初めて発生しています。ところが、シートベルトを着用しないドライバーの死亡事故は、十九・二キロという自転車などの速度でも起きています。

このデータは、衝突したときの衝撃がいかに大きいかを物語っています。

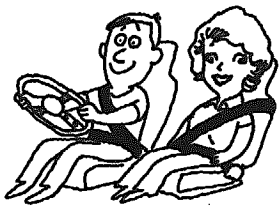
仮に、時速二十キロで衝突したらどうなるか。衝突の瞬間に体重の六・七倍の力が体にかかります。あなたの体重が六十キロなら、三百六十キロから四百二十キロの衝撃に見舞われるのです。

ところで、人間が支えられるのは、両腕で五十キロ、両足で百キロ程度が限度です。いかにあなたの体が頑健だとしても、四百キロの衝撃には耐えられません。耐えられないどころか、シートベルトをつけていなければ、フロントガラスに頭を突っ込んだり、車外に投げ出されて、死傷の原因となります。

その点、シートベルトを着用していれば、体は座席に保持されるので、負傷が軽くなり、命を落とすことも少ないのです。乗ったらすぐにシートベルトを。



▲ダミーによるシートベルト着用時と非着用時の比較



乗る人はだれでも、常に死傷の危険にさらされているといえ

七月歌会

短歌会

梅雨あがり曇きにむせぶ曇り結立のりに初蝉を聞く
朝夕に夏の結みを手助け番歌を録の朝顔
買はれゆきて今日殺さるる際故に無駄と思へ朝の餌やる
朝夕に炊く煙もはばかりて露つなげり平家落人湯西川温泉
老父の手で明えそらえたる豆なるに一夜の露雨に流されにけり
梅雨あがり木陰の風を浴びながらテレビで眺むる三千世界
四泊五日の旅の終りも結に日入りの出を海上に見る
塩入りの随道ぬれば良寛のようこびの碑あり梅の実熟るる
霧深き高原ルートベスにのり熊笹籠る草津に来たる
幾日も雨のつづきて店に売る野菜の数も少なくなれり

青木 留吉
松沢 虎男
平松清次郎
小林 弘
阿部 洋子
柏 直樹地
酒井 庄平
泉井 ヨ子
風間 法子
小出美奈子